



福井県



南越前町



WASEDA University

福井県 & 南越前町 & 早稲田大学 地域連携ワークショップ 2025

地域連携ワークショップとは

まちづくり、地域ブランド、移住定住、お土産、観光・・・自治体が抱える課題の解決策を、学生チームが提案する実践型ワークショップです。学部・学年を超えて集まった学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体関係者や住民の方々へのヒアリングなどを通して提案につなげます。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは、成長の機会になります。

おススメのポイント！

- 国内外で注目のウェルビーイングについて、幸福度ランキング日本一の福井県、街の幸福度ランキング北陸 1 位を獲得した南越前町をフィールドに学ぶことができます。
- 過疎地域で人口減少が進行するものの、明るく前向きに取り組む町長や地域住民の方々に、直接お話をお伺いしたり、ヒアリングする機会があります。
- グローバル・エデュケーション・センター全学副専攻「地域連携・地域貢献」実践領域および実践型教育プログラム「地域連携実践コース」（2025 年度末まで存続）の対象プログラム（2 単位相当）です。（注意事項⑩要参照）

テーマ

住民の幸福実感（ウェルビーイング）を高めるためには？

福井県は、都道府県幸福度ランキング（（一財）日本総合研究所）にて 12 年連続日本一に加え、今年度、デジタル庁調査による住民の主観的な幸せ実感でも全国トップになりました。

全国順位は相対的なものであり、福井県には幸福度の伸びしろが多様にあります。「幸福度日本一のその先」に向けて、今般、福井県の南越前町をフィールドに、幸福実感（ウェルビーイング）の向上をテーマに活動をいただきたくお願いします。

南越前町の令和 7 年 10 月 1 日現在の人口は 9,291 人であり、平成 17 年の合併時から 3,577 人減少しています。町の人口ビジョンでは令和 32 年の総人口は 5,367 人となり、高齢化率が 50%に達すると推計されています。また、民間組織「人口戦略会議」が昨年 4 月に発表した自治体の持続可能性に関する報告では、本町は将来的に「消滅の可能性がある」とされました。一方、昨年 10 月に大東建託㈱が発表した「街の幸福度ランキング 2024 <北陸版>」では、本町が 2 年連続 1 位となりました。

過疎地域である本町の持続的発展のために、移住・定住の促進、産業の振興、生活環境の整備、医療の確保、教育の振興など、様々な取り組みを実施しています。

住民の幸福実感を高めるために、取り組むべき効果的な施策は何か、ご提案をお願いします。

南越前町の魅力

南越前町は、福井県の中心に位置し、豊かな緑に包まれた山々、海の幸に恵まれた日本海、文化や歴史に育まれた里があり、「山・海・里」の三つの「幸」がそろった町です。それぞれで四季折々のさまざまな魅力を堪能できます。

また、古くから北陸と京の都あるいは越前と若狭を結ぶ陸路、海路の要衝でした。江戸時代に宿場町として栄えた今庄宿や日本海 5 大船主ともいわれた北前船主の館右近家をはじめ、鉄道遺産や山中に築かれた山城の城跡など、歴史文化を感じることができます。東京駅から南条駅までは新幹線を利用して約 3 時間半で到着します。

特産の今庄そばや今庄つるし柿、今庄の地酒、越前がにやへしこなど豊かな自然の恵みが詰まったグルメも楽しめます。



募集概要

募集期間	2025 年 11 月 21 日（金）～12 月 7 日（日） 23：59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
応募条件	原則として事前説明会（オンライン）への出席 および 全ての公式日程（次頁）への参加が可能なこと
募集人数	2 チーム（10 名程度）
応募方法	1. 事前説明会（オンライン）【応募の際には参加必須】 日程：11/21（金）、11/27（木）、12/3（水） 12:30～12:50（全日程） ※参加・申し込み方法等、詳細は配信メール、GCC オフィス HP および Instagram でご案内しています。 ※すべての回で内容は同じです。上記 3 日程のうち、いずれかの回にご参加ください。 ※事前相談会（12:50～13:10／参加任意）も上記日程で実施します。 2. 事前説明会参加後、以下の手順もしくは右の QR コードのリンク先から応募 ① MyWASEDA にログイン ② お知らせ一覧から「地域連携ワークショップ 2025 春編」を検索 ③ 「地域連携ワークショップ 2025 春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由、ワークショップ期間中のスケジュールなど）を入力して申請 
選考方法	書類選考：結果通知は 2025年12月23日（火）までにWasedaメール にて通知します。
注意事項	① 当ワークショップは正規授業ではないため、成績評価・卒業単位の認定等はありません。 ② フィールドワーク（現地調査）の実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。活動地は早稲田キャンパス、南越前町内となります。 ③ 【重要】公式日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ④ オンラインで活動する場合があります。その際は、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。 ⑤ 現地調査に係る自己費用負担：往復交通費（大学⇄現地集合場所）・宿泊費について <交通費目安> 東京駅～南条駅 片道 14,530 円（新幹線/指定席、在来線） <宿泊費> 今庄の宿かねおり（2 人部屋以上、2 食付き）9,700 円/泊～ ※但し、福井県の制度利用により、交通費の一部補助を受けることが可能です。また、大学より地域連携ワークショップ活動助成金として補助があり、往復交通費、宿泊費の自己負担額は 10,000 円程度になる見込みです（現地調査終了後に精算）。 ⑥ 【重要】当ワークショップに応募する場合、同時期に実施される企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各ワークショップの特色などをご確認の上、応募してください。また、同時期に実施する地域連携スタディツアーに参加が決定している場合も応募はできませんのでご注意ください。 ⑦ 当ワークショップは複数の地域（第 2 希望まで）に応募することができますが、最終的に参加できるのは 1 地域のみです。当地域を第 1 希望として申請し、選考を通過した場合はその時点で第 2 希望の地域のワークショップには参加できなくなります。 ⑧ 早稲田大学の学生補償制度（傷害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。 ⑨ ワークショップ実施日と重複する正規授業等を欠席した場合でも、公欠扱いとはなりません。 ⑩ グローバル・エデュケーション・センター全学副専攻「地域連携・地域貢献」^(注 1) および実践型教育プログラム「地域連携実践コース」（2025 年度末まで存続）の対象プログラムです。 注 1：2026 年 3 月卒業予定で副専攻修了を目指される方は、認定手続きのスケジュールの都合上、副専攻の単位相当にはなりませんので、ご注意ください。 ⑪ ワークショップでは連携先、大学がInstagram等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。あらかじめご了承ください。 ⑫ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。 ※プログラム内容等は変更が生じる場合があります。
問合せ先	Office of the Global Citizenship Center（GCC オフィス）： rbso@list.waseda.jp ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

ワークショップスケジュール（公式日程）

授業等により、やむを得ず欠席／遅刻／早退となる可能性がある場合は、その日程と理由を応募の際にお知らせください。

	予 定		日 程	内 容
①	オリエンテーション @早稲田大学	事前調査期間	1/17（土） 13:30～16:00	・参加者（学生／職員／自治体担当者）顔合わせ ・自治体担当者から、課題およびテーマ設定に至った背景の説明 ・今後のスケジュール確認、事前調査の進め方などの説明
②	交流会 @早稲田大学		1/21（水） 17:30～20:00	・ミニゲームなどを通して参加学生同士の親睦を深める ・フィールドワーク前の注意事項確認 ・チーム発表
③	オンラインヒアリング @早稲田大学		1/26（月） ～1/28（水）	・現地調査に向けて、仮説検証等に必要なヒアリングを行う ※ヒアリング先のご都合に応じて実施時間は流動的となるため、左記の日程は終日スケジュールを空けておくようにしてください。
④	対面グループワーク @早稲田大学		1/30（金） 10:00～17:00	・現地調査に向けたグループワーク ※時間帯は 10:00～17:00 の間で、参加学生の都合を確認し決定
【事前調査期間】 ・地域やテーマに関する調査／情報収集などを行い、チームとしての仮説を立てる ・ヒアリングの希望先（オンライン・現地）、質問内容等を検討し、所定の形式で自治体へ提出 ※提出期日：オンライン…1/22（木）、現地…1/30（金）				
⑤	現地調査 （フィールドワーク） @南越前町内【3泊4日】		2/3（火） ～2/6（金）	・南越前町長との懇談および町の関係者の方々等へのヒアリング ・南越前町内の見学
⑥	対面グループワーク @早稲田大学	追加調査期間	2/18（水） 10:00～17:00	・中間報告会に向けたグループワーク ※時間帯は 10:00～17:00 の間で、参加学生の都合を確認し決定
⑦	中間報告会 @早稲田大学		2/25（水） 13:30～15:30	・提案内容の報告 ・自治体担当者（@オンライン）、大学職員が参加予定
⑧	対面グループワーク @早稲田大学		3/4（水） 10:00～17:00	・プレ報告会に向けたグループワーク ※時間帯は 10:00～17:00 の間で、参加学生の都合を確認し決定
⑨	対面グループワーク @早稲田大学		3/6（金） 10:00～12:00	・プレ報告会に向けたグループワークを予定 ※内容は状況に応じて変更となる可能性があります
⑩	プレ報告会 @早稲田大学		3/9（月） 13:30～15:30	・最終報告会に向けた発表練習 ※報告会後はグループワーク用に会場開放予定
【追加調査期間】 ・現地フィールドワークや中間／プレ報告会でのフィードバック等をふまえ、提案の再検証およびブラッシュアップ				
⑪	最終報告会 @早稲田大学		3/18（水） 13:30～15:30	・町長など自治体関係者や地域住民の方々（@オンライン）に向けて提案を発表 ※最終報告会終了後、学生と大学職員との振り返り会（15:30～17:00）を実施します。

※上記公式日程以外でも、必要に応じてチーム内で相談・日程調整をし、自主的に活動（ミーティング・グループワーク・追加ヒアリング等）のうえ、ワークショップを進めていきます（学生同士の話し合いに大学職員や自治体関係者が参加することもあります）。

実施の流れ

- オリエンテーション：自治体の方から課題（テーマ）やその背景を聞く
↓
 - 事前調査：
個人、チーム単位で地域やテーマについて調査。
課題に対する仮説を設定し、提案の方向性をまとめる。
どのような方にヒアリングしたいのか、どのような質問をしたいのかりスト化
↓
 - 現地調査・ヒアリング：
自治体関係者、地域住民へのヒアリング（対面＋オンライン）
↓
 - 最終提案資料作成：
現地調査やヒアリングなどを踏まえ、仮説を検証し、最終提案資料をまとめる
↓
 - 最終報告会：自治体関係者、地域住民を前にプレゼンテーション
- 学生同士で時間を決め、対面での打合せや Zoom 等で議論を進める

過去のワークショップ参加学生の声

※当地域の参加学生以外のものも含まれます。

ワークショップでの活動を振り返って

- 「学生だけじゃ何も変えられない」から「学生だから変えられる」という経験ができました。（社会科学部 1 年）
- インターネットで得られる情報は一部に過ぎず、生の声を聞いて初めてわかることがたくさんあった。（中略）また、自分のアイデアを言語化する難しさを痛感した。（文化構想学部 2 年）
- 今までにない視点を発見することができたことがもっとも大きな収穫でした。（中略）机上の空論でない地方創生とは何かを学ぶことが出来ました。なかなか大学にいても学べないことであったので貴重な経験となりました。（政治経済学部 3 年）

チームメンバーとの関わりを通して

- 元々考えていた案がヒアリングなどを通じて崩れても、また新たなものを考えようと前向きになれたり、（中略）ひとりではなくチームで提案を構築することの素晴らしさや難しさを体験できたので、今後に活かしていきたいです。（教育学部 2 年）
- 自分の長所や短所を発見することができ、意見を出すことの躊躇いがなくなりました。小さな意見や変わった意見でも言葉にすることで、新たな提案に繋がったこともあったため、発言に自信を持てるようになりました。（スポーツ科学部 2 年）
- あまり自己主張が得意ではなく、自己肯定感も低めだった自分ですが、今回の WS を通して相手の考えを尊重しながらも自分の意見を主張する大切さを学び、自分の得意なこともチームメンバーに教えてもらいました。（人間科学部 3 年）

「地域貢献」「地方創生」に対する考えの変化

- 自分が住む地域をよりよくするために、行政の方々だけでなく、ヒアリングでお伺いした多くの方々がそれぞれ熱い思いをもつて様々なことを考えていらっしゃることがとても印象的でした。今思えば、ワークショップ参加前は「地域貢献」「地方創生」といったキーワードを軽く考えていたと思います。（教育学部 1 年）
- ヒアリングを通して、「地域貢献」「地方創生」はその地域に愛着をもって創生したいと思って進んでいる方々を尊敬し、その方々が感じている魅力に寄り添っていく延長線上にあると強く意識するようになりました。（創造理工学部 1 年）